

	課題分析	授業改善策	改善状況 ◎○△
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○書くことに苦手意識をもつ児童が多く、読むことや書くことの指導に時間がかかる。 ○漢字の定着に個人差が見られる。 ○自分の考えの理由を述べることに時間がかかることがある。 ○大事なことを落とさずに、最後まで集中して聞くことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○読解のスキルを分かりやすく身に付けられるように、単元ごとに身に付けたい力を絞って単元計画を考え、スモールステップの学習を取り入れ、年間を見通して積み上げる。 ○視覚的に捉えやすいよう ICT やデジタル教材を活用し、意欲を高め、思考力、判断力、表現力を育てていく。 ○様々な形式の書く活動を意図的に取り入れ、基礎的なスキルの向上とともに、伝える楽しさを実感させていく。書き慣れることと、語彙を増やすことを目的として、日常的に日記や短作文に取り組むようにする。 ○授業の中では、新出漢字の習得時に言葉広げなどをして、語彙力を増やしていく。また、個人の能力に合った漢字練習法を提案し、自分に合った方法を身に付けさせる。 ○ペアやグループ学習で話し合う活動を多く取り入れ、相手に伝わるよう話したり最後まで聞いたりする経験を積み、言語活動の充実を図る。 ○朝読書や読み聞かせを通して読書に親しむ機会を充実させる。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○問題文から演算決定をするための情報を読み取る力が弱い。 ○様々な大きさに対する量感が不足しており、単位の換算 (m→cm、kg→g など) の定着に個人差が見られた。 ○ベーシックドリル診断シートの結果、「式の表し方」「とけい」の定着に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○必要な数値を把握したり、演算決定をするための言葉を探したりすることができるようにする。 ○具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて考えたり、説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったり、学び合ったり、高め合ったりするなどの学習活動を積極的に取り入れる。 ○長さや水の量をはかる等の活動を通して、量の感覚を身に付け、日常の生活や学習に活用する力を養う。 ○ベーシックドリルを活用し、課題のある領域の定着を図っていく。 ○繰り返り上がりの足し算、繰り返り下がりの引き算の仕組みを理解させるとともに、早く正確に答えられるよう反復練習を行う。 	
生活	<ul style="list-style-type: none"> ○気づきや思いを見取り、活動へつなげる声掛けを適切なタイミングで行うことが難しかった。 ○見付けたものや思ったことを言葉で表現する 	<ul style="list-style-type: none"> ○「気づきや思い」を引き出せる単元構成や声掛け等を意識し、継続して行う。短時間でも振り返りの時間の設定や、次時の活動に触れるなど見通しをもた 	

	<p>ことがまだ難しいため、友達同士での情報交換で広げなかったが、十分とは言えない。</p> <p>○自然や社会との関わりを実感できる学習の場を設定するのが難しい。</p>	<p>せる活動を継続させていく。</p> <p>○タブレットを活用して情報を共有し視覚的に捉えられるようにする。</p> <p>○発表したり、それを聞いて質問をしたりする活動する場面を多く設定するなど、言語活動の充実を図る。</p> <p>○単元計画、指導計画を立てる際に季節や地域・学校の行事を考慮したものにしていく。</p>	
音楽	<p>○歌唱では正しい音程で歌うことや頭声的発声で歌うことに課題がある。</p> <p>○鍵盤ハーモニカではタンギングをしながら吹くことや、正しい運指で演奏することに課題がある。</p> <p>○鑑賞では感じ取った曲想を、その根拠となる音楽の諸要素と結びつけて考えることや言葉で表すことに課題がある。</p>	<p>○常時活動を通して、頭声的発声や息の使い方を自然に学習できるようにする。また、正しい音程を身に付けるために、ピアノの音や自分の声をよく聴く学習過程を取り入れる。</p> <p>○タンギングや正しい運指で演奏できるよう個別に確認し支援を行う。</p> <p>○感じ取った曲想と音楽の諸要素を結びつけて考えられるよう、「なぜそう感じたのか」を教師が意図的に発問し考えていく学習過程を取り入れる。</p>	
図画工作	<p>○感性や想像力を働かせて、表現したり鑑賞したりする資質・能力を、スパイラルに育成する必要がある。</p> <p>○思考力・判断力・表現力等を高め、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、学習の場面が「“国語”言語活動か」、「“図工”言語活動か」を意識して取り組む必要がある。</p> <p>○「活動を通して何が身についたのか」という視点に度々戻り、学習・指導の改善・充実を進める必要がある。</p> <p>○生活を豊かに美しくする造形や美術の働きにふれさせる学習をする必要がある。</p>	<p>○「表現・鑑賞」全ての造形活動に「造形遊び」の要素を取り入れ、児童が主体的に活動できる中で、楽しく感性や想像力を育てていけるようにする。</p> <p>○鑑賞の対象の幅を「生活の中の造形」等、作品以外にも目を向けられるように育てる。</p> <p>○〔共通事項〕アの、形や色などを造形的な視点でとらえられるように、一部に“知識”も用いる。</p> <p>○「A表現」の指導にあたり、児童が自分の良さや可能性を見出せるようにする。</p> <p>○常に児童が主体的に活動できるように工夫することで、楽しく活動できるようにする。</p> <p>○「“国語”言語活動」を「B鑑賞」のみから、「A表現」でも扱う。</p>	
体育	<p>○走る、支持する、投げるなどの基本的な動きに個人差が大きく、実態に即した課題作りが難しい。</p> <p>○鉄棒・うんてい・登り棒などでは、体を支持する力や体の各部の動かし方に個人差がある。経験不足や恐怖心の強さなども課題がある。</p> <p>○運動に対する意欲はあるが、苦手意識を抱いたり、自分の体を器用に操作できなかつたりする傾向が一部見られる。</p>	<p>○意欲を高め、技能のポイントを学びやすくするため、学習の場を工夫する。一人一人の目標や課題意識をもって、練習に取り組めるように様々な活動ができるようにする。</p> <p>○授業の前半に、不足する力を補い、基本の動きを高める運動を取り入れる。</p> <p>○良い動きのチームや児童の様子を観察させる。互いに教え合ったり、工夫したりする場を設ける。</p> <p>○スモールステップで取り組ませることを心掛け、運動遊びの楽しさに触れる機会を作る。</p>	